那覇商工会議所会報誌

NAHA CCI NEWS

NAHA Chamber of Commerce & Industry.

2026 健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

2026 10 OCTOBER NO.881
令和8年10月15日発行
（毎月1回15日発行）



特集
GOOD LIFE フェア2026

円覚寺跡（国指定史跡）

YEG
那覇商工会議所
青年部

えがおのまち 那覇KIDS DAY

子どもたちはすべて 参加無料!

キッズデー開催

2026. 12.19(土)・20(日)

沖縄タイムスビル
1階エントランス・2階ホール・他
〒900-0015 那覇市久茂地2丁目2-2

NAHA NEXT SMILE MOVEMENT

子どもたちの笑顔が
那覇のチカラになる。

各体験別に特別協賛可能です。



子どもの笑顔をつくり、那覇YEGの未来をつくる

体験はすべて、地域企業の協賛によって支えられています。

こども未来チケットで飲食や体験を無料提供。

※本作品のイラストの一部はAI画像生成ツールを用いて生成されています。

那覇の子どもたちの体験を支える協賛企業募集中!!

子どもの笑顔が、まちの未来を動かす。
体験・食・交流を、地域企業の協賛で支える2日間。

本事業は、那覇の子どもたちに「体験・経験」を届けることで、地域の魅力や人との繋がりを感じてもらう全体事業です。会場では、さまざまな体験、縁日、キッチンカー・飲食などを通して、子どもたち「やってみたい」「また来たい」と思える場をつくります。さらに、そのすべてを地域企業の協賛によって支え、子どもたちへ無料で届ける仕組みを目指します。

① 子どもへの直接的な地域貢献
御社の協賛が、子どもたちの具体的な体験につながります。

② 自社事業との親和性
食品なら食育、ITならプログラミングなど、本業と社会貢献をつなげられます。

③ 子育て世代への認知・企業価値向上
地域の子どもたちを応援する企業として、その姿勢を家族や地域へ届けます。

協賛企業にとっての 6つのメリット

- ☑ ① 那覇商工会議所がバックアップ(HAISAIに掲載)
- ☑ ② 那覇市と連携した地域告知
- ☑ ③ 那覇市教育委員会と連携した学校告知
- ☑ ④ Instagram広告による継続発信
- ☑ ⑤ 子どもたちの感謝・体験の声を還元
- ☑ ⑥ 各マスメディアへNEWSリリース



主催 YEG 那覇商工会議所青年部

お問い合わせ：えがおのまち那覇 KIDS DAY 実行委員会
TEL：098-868-3759 (10:00～17:00/ 事務局：前里)
※土日祝除く

詳細はこちら(特設HP)

那覇商工会議所会報誌
NAHA CCI NEWS
NAHA Chamber of Commerce & Industry.
2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門
2026 10
NO.881

Contents

2 特集
GOOD LIFE フェア2026

4 那覇商工会議所TOPICS
◎那覇商工会議所 部会
◎第13回 うちなー健康企業会 特別定例会
◎令和8年度 賃上げ支援助成金実務講習会
◎適切な価格設定と原価計算の考え方セミナー
◎中小企業のための「生成AI」活用・実践セミナー&ワークショップ
◎採用難を乗り越える！「沖縄の企業が今取り組むべきブランディング」と「外部プロ人材」活用セミナー

6 専門家個別相談窓口 / 沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター

7 私たちの会社
◎(株)Link Co-Creation

8 FOCUS
◎(株)ワダチラボ

10 ハイサイ! 那覇青年部

12 中小企業のためのDX事例
◎薬剤師の『マウス文化』に寄り添う、現場発の薬歴DX

13 ビジネスナビ
◎「時間」から「健康」へ!
労基署の指導方針変更とストレスチェック義務化

14 おきみゅー(沖縄県立博物館・美術館)
◎令和8年度美術館企画展in名護
アイデアがカタチになるとき デザイナー 岸本一夫

15 那覇歴史探訪
◎あの日の空に響いた歓声
那覇・国際通りデパート屋上遊園地の記憶

16 事務局日誌 / スケジュール / 編集後記

企業広告

表2 えがおのまち那覇 KIDS DAY 実行委員会
12 (公社)沖縄県シルバー人材センター
表3 沖縄県中小企業団体中央会 / 貸しホールのご案内
表4 (株)アカネクリエーション



今月の表紙

円覚寺(首里)

1494年、第二尚氏王統の第3代国王・尚真王により創建された臨済宗の円覚寺。琉球王国の総菩提寺として手厚く庇護された王府の象徴です。沖縄戦で多くが失われましたが、奇跡的に現存する重厚な総門や精巧な石造りの意匠に、往時の高い文化水準と気品が宿っています。



同封されている付録もご覧下さい

- 企業PR便のご案内
- 企業広告募集のご案内
- インバウンド観光人材育成研修のご案内
- 「ハラスメント対策と就業規則見直し」の実務セミナーのご案内
- 給与計算と社会保険実務上の留意点セミナーのご案内
- 事業継続力強化計画自社リスク対策セミナーのご案内
- 税制改正を踏まえた年末調整セミナーのご案内
- 人材定着セミナーのご案内
- トラブルを未然に防ぐ法務と契約実務の基本セミナーのご案内
- 属人化解消・業務分散セミナーのご案内
- 税理士による税務相談会のご案内
- 小規模事業者伴走型支援体制強化事業のご案内
- 小規模事業者持続化補助金活用セミナーのご案内
- 日本商工会議所損害保険制度のご案内
- 沖縄人事フォーラム&組織開発のご案内
- JOY WALKイベントのご案内
- 首里城図柄入り自動車ナンバープレートのご案内
- 令和8年度 健康づくり講演会のご案内
- 能力開発セミナーのご案内
- 「人的資本経営」実践セミナーのご案内
- EC活用と経営戦略セミナー開催のご案内
- 次の会社の集まりは久米島で！のご案内
- 忘新年会特別プランのご案内
- コミュニケーションを生み出すオフィス戦略セミナーのご案内
- 沖縄県WBL企業認証制度のご案内

ライフスタイルを彩る展示会

GOOD LIFE フェア2026

出展レポート

心地よく豊かな暮らし＆SDGs

2026.9.25[金]-9.27[日]

東京ビッグサイト 西2・4ホール

主　催　朝日新聞社
開催規模　約600社/750ブース
来場者数　約37,200名

GOOD LIFE フェア2026とは・・・

2026年9月25日（金）から27日（日）まで東京ビッグサイトで開催された国内最大級のサステナブル・ライフスタイルイベント。
全国のこだわりがある食品、オーガニックコスメ、健康・美容、住まい、サステナブルな商品など600を超えるブースが集結。



那覇商工会議所ブース

～那覇のこだわりの商品を取り扱う５事業所が共同出展～

出展者が来場者にリアルの交流・体験を通じた販促活動を実施し、商品販売やファン獲得に繋げました。一般消費者への販売だけでなく、ビジネス関係者との商談も活発に行われ、地域産品の販路拡大に向けた取り組みを実施しました。
ブース正面の壁面には、首里城正殿の横断幕を掲げ、首里城の復興と2026年秋より首里城正殿が一般公開されることを来場者にPRしました。



首里城正殿復元を周知する特大パネルを掲示。2026年秋より開始される一般公開や事前予約制について、来場者へ向け周知・広報を行いました。



那覇のこだわりの商品を取り扱う事業所5社が共同出展。統一感のあるデザインで各社拘りの商品を一同に展示・販売しました。

01 MAHOWBREW ((同)MAHOW)

出展商品　クラフトビール、ミード(蜂蜜を発酵させた醸造酒)ほか

那覇市壺屋で醸造開始。沖縄県内で国内外の審査会で最多受賞数を誇る。全国卸、直営店、ECにて販売。海外展開も目指す。







コメント

多くの方と交流し、沖縄のクラフトビールを県外へPRする貴重な機会となりました。販売も想定以上で、新たなビジネスチャンスにもつながりました。商工会議所の皆さまの手厚いサポートにも感謝しています。

02 (株)さぷり





出展商品 スクワランオイル、クレンジングジェル、石鹸ほか

美容業界で４年以上の経験を積み、肌本来の美しさを大切にした本当に必要なスキンケアを届けたいという想いから2005年に創業。スクワランを中心にスキンケアシリーズとして商品を展開。

コメント

今回、初めて大きなイベントに参加し、売上目標に届かなかった点は課題となりましたが、未場者をいかに呼び止めるかという戦略の重要性を実感しました。来場者にアンケートへご回答いただきサンプルをお渡しするなどのアプローチを通じ、今後の商品案内や継続的な販売へつなげるという貴重な気づきが得られました。今後のイベントに活かしたいと思います。

03 (株)仲宗根糀家





出展商品 美ら甘酒（シークヮーサー味、パイン味）ほか

那覇市国場で黄糀を手作りする糀屋。生の米麹や酵素を活かすために非加熱・無添加製法で販売している酵素甘酒など全て自社で製造。

コメント

今回、初めて東京の展示会に参加させていただきました。県外バイヤーの皆様からのご意見などもい頂き商品開発のアイデアにも繋がりました。貴重な機会を頂き感謝しております。

04 南島製菓(株)





出展商品 こんぺん（くんぺん）、紅芋MoonPuff（紅芋の焼き菓子）

創業1935年（昭和10年）戦前から91年続く、沖縄では数少ない和菓子屋。代表商品の沖縄伝統菓子こんぺんは50年以上変わらずに製造。店舗リニューアル、新商品の開発など精力的に取り組む。

コメント

初めて県外出展で商品販売をさせて頂き、とてもいい経験になりました。琉球菓子こんぺんの存在、直接県外のお客様の声が聞けたこと、こんぺん、新商品の紅いもMoon Puffともに好評なのが、より嬉しかったです。また他社ブースの展示なども視察でき非常に勉強になりました。

05 ちゅらゆーな(株)





出展商品 早摘み生もずく、スナック菓子のりのり天

沖縄県北部やんばるの伊是名島で期間限定で収穫される「早摘み生もずく」をメインとし、「完熟生もずく」や「海ぶどう」、沖縄県産各地のもずくまたフルーツや特産品などの卸売業。

コメント

子供たちがもずくを大好きなことを肌で実感できた出展でした。バイヤーから家族連れまで幅広い層へ「伊是名島産早摘み生もずく」の試食2200食を提供し、商品は見事完売。沖縄もずくの魅力を存分にPRできました。

8/4(火)～9/7(月) 那覇商工会議所 部会

那覇商工会議所では、令和8年8月4日(火)から9月7日(月)にかけて、今年度の全9部会を開催しました。

当所の部会活動は小売、卸売、貿易、工業、金融、建設、交通・運輸、観光・サービス、文化・情報の9業種に分かれ、各種施策の周知やセミナーなど幅広く展開しています。

今回の部会では各部会長の進行のもと、令和7年度活動報告および令和8年度活動計画(案)が審議され、いずれも原案通り承認されました。あわせて沖縄県や沖縄総合事務局など関係機関による各種事業説明・周知も行われました。

また、部会終了後には参加者同士の名刺交換会を実施。賑やかな雰囲気の中で挨拶を交わし、積極的な情報交換が図られました。

当所では今後とも、事業者様への有益な情報提供にとどまらず、会員同士が深く交流できる場を積極的に提供してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



部会の様子（交通・運輸部会）

9/17(木) 第13回 うちなー健康企業会 特別定例会

9月17日(木)、中小企業振興会館にて「第13回 うちなー健康企業会 特別定例会」を開催しました。

本定例会は「100年企業を目指して沖縄の未来を考える」をテーマに掲げ、24事業所から32名が参加されました。

定例会では、東京大学未来ビジョン研究センターの古井 祐司 特任教授より「人的資本経営で会社も社会も大変身!-「攻めの予防医療」の導入を踏まえて」と題して基調講演を行い、続くパネルディスカッションでは健康経営に力を入れている県内企業4社(日琉、興南施設管理、西自動車商会、隆盛コンサルタント)による実践事例の発表が行われました。その後、参加企業同士のグループディスカッションを通じて課題の共有や対策の発表がなされ、古井 祐司 特任教授による総括をもって、会場は今後の取組みに向けた前向きな熱気に包まれました。



特別定例会の様子

那覇商工会議所は今後も関係機関と連携し企業の健康経営の普及・推進に取り組んでまいります。

8/31(月) 令和8年度 賃上げ支援助成金実務講習会

8月31日(月)、那覇商工会議所2階ホールにて「令和8年度賃上げ支援助成金実務講習会」を開催いたしました。本講習会は当初8月7日(金)に予定しておりましたが、台風の影響により日程を変更しての実施となりました。当日はグッジョブ相談ステーションおよび沖縄働き方改革推進支援センターとの共催のもと、講師には社会保険労務士の名城 志奈先生をお迎えしました。講習会では9月1日(火)から申請が始まった業務改善助成金やキャリアアップ助成金など、雇用や賃上げに関する助成金の概要から計画書の書き方まで実務に即した解説が行われました。講習会終了後に実施した個別相談会では、講師を務めた名城 志奈先生と、沖縄働き方改革推進支援センター長で社会保険労務士の岡輝 一先生が、参加者の具体的な課題や相談に乗られました。



令和8年度 賃上げ支援助成金実務講習会の様子

9/8(火) 適切な価格設定と原価計算の考え方セミナー

9月8日(火)、那覇商工会議所2階ホールにて、「適切な価格設定と原価計算の考え方セミナー」を開催しました。最低賃金引上げ等の環境変化に対応し、中小企業・小規模事業者が適正な利益を確保して経営体質を強化することを目的に、講師として中小企業診断士の當山 修治氏をお迎えしました。

前半では、価格設定の基本と付加価値向上経営について解説し、原価と全社利益の正確な把握が不可欠であることを強調しました。後半には、クラウド会計を活用した原価把握や、BtoB向け価格交渉の手順など、実践的なノウハウを提示しました。

参加者からは「自社の価格設定を見直す良い機会になった」といった声が寄せられ、今後の利益確保に向けた大きな弾みとなったようでした。



セミナーの様子

今後も当商工会議所では、企業の皆さまの課題解決に向けた実践的なセミナーを継続的に開催してまいります。

9/16(水) 中小企業のための『生成AI』活用・実践セミナー&ワークショップ



オンライン講義スライド

9月16日(水)、オンラインにて「中小企業のための『生成AI』活用・実践セミナー&ワークショップ」を開催しました。中小企業・小規模事業者を対象に、安全で効果的なAI導入・運用手法を体得していただく目的で実施し、講師には(株)ネクストクリエイションのギラン・アンディ・プラダナ氏と清藤貴博氏をお迎えしました。

前半では、最新AIとAIエージェントの展望について解説し、これからの働き方はAIを「指揮する」役割へ変わることを強調しました。続いて、自社業務の棚卸しを行い、AI化のポテンシャルを見極めるワークショップを実施しました。

後半には、情報漏洩リスクを防ぐための「生成AIガイドライン」の作成デモと、テスト環境を用いた実践ワークを行いました。

参加者からは「自社のどの業務をAIに任せるべきか明確になった」「ガイドラインの下書きができて導入の不安が解消された」といった声が寄せられ、実務へのAI導入に向けた大きな一歩となったようでした。

今後も当商工会議所では、企業の皆さまの課題解決に向けた実践的なセミナーを継続的に開催してまいります。

9/15(火) 「採用難を乗り越える！沖縄の企業が今取り組むべき『ブランディング』と『外部プロ人材』活用セミナー」

那覇商工会議所は9月15日(火)、中小企業振興会館にて「採用難を乗り越える！沖縄の企業が今取り組むべき『ブランディング』と『外部プロ人材』活用セミナー」を開催しました。県内企業における深刻な人手不足や高い離職率の打破に向け、経営課題の解決と生産性向上を図る目的で開催され、当日は多くの事業者が参加しました。

第1部では、カシオ計算機(株)前時計マーケティング部長の上間卓氏が登壇し、「G-SHOCK」を世界的ブランドへと成長させた戦略とブランディングの重要性について基調講演を行いました。第2部では(株)インディードリクルートパートナーズの狩野 美鈴氏が外部プロ人材の活用事例を紹介し、第3部では沖縄県産業振興公社による具体的な支援策や個別相談会が実施されました。本セミナー全体を通して、自社のブランド発信と外部人材の活用という両面から、地域の採用難を乗り越えるための具体的な解決策が提示される場となりました。



セミナーの様子



専門家 個別相談窓口のご案内

無料

完全予約制
下記QRコードから
ご予約下さい。

場　所　那覇商工会議所（中小企業振興会館）2 階 ※那覇市久米 2–2–10
お問合せ　那覇商工会議所中小企業相談部 TEL:098-868-3759

経営相談（補助金・事業計画策定・資金繰り等）

【中小企業診断士】　相談時間（60分）

●13 時 30 分～　●14 時 30 分～　●15 時 30 分～

よろず経営相談【よろず支援拠点】相談時間（60分）

売上拡大、生産性向上、起業・創業、経営・資金繰り改善、労務・雇用、事業承継、事業再生などの相談

●9 時 30 分～　●10 時 30 分～　●13 時 30 分～
●14 時 30 分～　●15 時 30 分～

事業承継（M&A・親族内承継・従業員承継）

【事業継承・引継ぎ支援センター】　相談時間（60分）

●13 時 30 分～　●14 時 30 分～　●15 時 30 分～

労働条件（保険・労働環境）等相談

【社会保険労務士】　相談時間（60分）

●10 時 00 分～　●11 時 00 分～

10月

日	月	火	水	木	金	土
27	28 経営相談	29	30 事業承継	1	2 経営相談	3
4	5 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	6	7 事業承継 M&A・親族内承継・従業員承継	8	9 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	10
11	12 スポーツの日	13	14 事業承継 M&A・親族内承継・従業員承継	15 よろず経営相談	16 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	17
18	19 労働に関する相談 経営相談	20	21 事業承継 M&A・親族内承継・従業員承継	22 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	23	24
25	26 経営相談	27	28 事業承継	29	30 経営相談	31

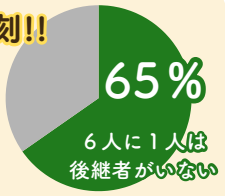
11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	3 文化の日	4 事業承継 M&A・親族内承継・従業員承継	5	6 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	7
8	9 労働に関する相談 経営相談	10	11 事業承継 M&A・親族内承継・従業員承継	12	13 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	14
15	16 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	17	18 事業承継 M&A・親族内承継・従業員承継	19 よろず経営相談	20 経営相談 補助金・事業計画・資金繰り等	21
22	23 勤労感謝の日	24	25 事業承継	26	27 経営相談	28
29	30 経営相談	1	2 事業承継	3	4 経営相談	5

沖縄県
事業承継・引継ぎ支援センター

沖縄では後継者不在が深刻!!

信頼できる後継者を見つけて事業を続けることが、事業主や従業員、更には沖縄経済にとって、とても重要な課題になっています！



ー想いを次の世代へー
事業引継ぎを応援します！

悩むよりも！お気軽に 無料相談



こんなお悩みありませんか？

- ☑後継者がいない！
- ☑何から手をつけていいかわからない！
- ☑まずは悩みを聞いてほしい！
- ☑信頼できる専門家に相談したい！
- ☑承継に関する税務や法務に不安がある！
- ☑自社を譲渡したい！
- ☑企業を買収したい！

後継者問題に悩む中小企業の味方になります！

「事業承継・引継ぎ支援センター」では、国が設置する公的相談窓口です。親族内の承継や第三者への引継ぎなど中小企業の事業承継に関するあらゆるご相談に対応します。

お問い合わせ

沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター

沖縄県那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル５階

TEL:098-941-1690

ホームページ　Instagram

お気軽にお問合せ下さい

沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター

掲載企業大募集！

掲載無料

会員企業のPR掲示板

私たちの会社

お申込みはこちらから！

店舗の宣伝、イチ押し商品、ユニークなサービスを無料で掲載致します。
当誌面を有効活用し、ポイントを絞ったPRで売り上げUP! 取り引きに繋げて下さい。

リンク コ・クリエーション
Link Co-Creation
株式会社 Link Co-Creation

AIナレッジ expert-Q

**社内の質問も、お客様の問い合わせも。
AIが24時間答えます。**

「株式会社Link Co-Creation」は、2020年からAIの研究・開発と導入支援を行う地元企業です。自社開発のexpert-Qは、日本語のマニュアルを登録するだけで、社内の質問もお客様対応も24時間自動で回答。外国語の質問にも母国語で答えます。11/19・20、沖縄サントリーアリーナのResorTech EXPOでお待ちしています。ぜひご来場ください。



社内ナレッジを活かすAI チャットボット



expert-Q についてはコチラ

株式会社 Link Co-Creation
〒900−0002 沖縄県那覇市曙1丁目16-34
ライオンズマンション曙本通り202号室
098-975-7473
https://expert-q.net/lp/　E-Mail：higa@link-cc.com　ご担当：比嘉

那覇商工会議所 ＆ アクサ生命



那覇商工会議所 福祉制度キャンペーン

期間 令和8年 9月1日(火)〜11月30日(月)

ベストウイズクラブ※では、「福祉制度キャンペーン」を9月1日(火)〜11月30日(月)まで実施致します。このキャンペーンは「商工会議所福祉制度」を会員の皆様にご理解頂き、会員事業所の福祉向上にお役立ていただくことを目的としております。「商工会議所福祉制度」は、経営者・役員の皆様の保障や退職金準備のほか、入院・介護・老後に備えた様々なニーズにお応えするものです。商工会議所職員とアクサ生命保険株式会社の担当職員が、お伺いした際には、是非ご協力頂きますようお願い申し上げます。

※「ベストウイズクラブ」は、商工会議所共済制度・福祉制度の普及、推進を目的とし、全国各地の商工会議所及びアクサ生命保険株式会社により運営されている組織です。

お問い合せ　那覇商工会議所　企画業務部　☎ 098-970-6890　FAX 098-866-9834
引受保険会社　アクサ生命保険株式会社　那覇営業所　☎ 098-862-5084　FAX 098-862-5089



株式会社 ワダチラボ

人事コンサルタント全員が国家資格キャリアコンサルタント・コーチ資格を保有する人材育成のスペシャリスト

Company Data【会社概要】

創　業	2017年
事業内容	人事コンサルティング、人材育成事業、キャリア支援事業、資格スクール事業運営
住　所	那覇市おもろまち２丁目5-37 パルマ3-G号
メール	info@wadachilab.com
WEB	https://www.wadachilab.com/



企業の未来を拓く人材育成。ワダチラボが描く『人と組織』の成長曲線

「組織が変わる」「社員が動き出す」と評判の講演会・セミナーの様子。豊富な実績に裏打ちされた独自の視点で、変化の激しい時代を勝ち抜くための組織づくりやリーダーシップの本質を説きます。

「もう一人の仲間」として沖縄の企業と伴走する

従業員の離職や育成など、尽きない「人と組織」の悩み。沖縄の企業・自治体を中心に、理念策定から人事制度、階層別研修まで一気通貫で伴走する株式会社ワダチラボ。代表の福島知加氏自身もかつては「ひとり人事」として孤独を味わった当事者だ。「経営者のもう一人の仲間でありたい」と語る同社の強みと事業への想いに迫る。

「ひとり人事」の経験から始まった挑戦

沖縄の企業の「人と組織」を専門に支援する人事コンサルティング会社、株式会社ワダチラボ。理念やビジョンの策定から組織診断、人事制度の設計、階層別研修や管理職コーチングまで、人事に関わる領域を一気通貫で手がけている。これまでに支援してきた企業は５００社以上、のべ３万人を超える。

代表取締役の福島知加氏がこの道に進んだ原点は、自身が人事担当者だった頃の経験にある。やりがいの一方で、常に感じていたのは「孤独」だった。そんな時に外部のコンサルティング会社に救われたという。県内には専任の担当者がいない「ひとり人事」や、他業務と兼務する人が非常に多い。管理職もプレイヤーとマネジメントを一人で抱え込み、相談相手がいないまま正解のわからない判断を迫られている。「同じ目線で一緒に考えてくれる人がいるだけで、こんなにも違う。だったら沖縄にもその存在をつくりたい」。そう決意した福島氏は、２０１７年に創業し、２０２１年の法人化を経て、今年で創業９年目・法人化５年目を迎える。

社名の「ワダチ」はキャリア、「ラボ」は研究・実験を意味する。「挑戦を重ねるほど人の可能性は広がる」という願いが込められている。

「仕組み」と「関係性」を同時に動かす、イチオシの伴走支援

同社の看板サービスとなっているのが、制度設計と人材育成を同時に走らせる伴走型プログラム「人事サポートプログラム（ＪＳＰ）」だ。

多くの企業では、立派な人事制度を作っても現場に定着しなかったり、人間関係は良くてもルールが曖昧で組織の成長が止まったりといった壁にぶつかる。同社はこれまでの豊富な支援実績から、その原因が「仕組み」と「関係性の分断」にあることを見抜き、組織診断から１ｏｎ１、等級・評価制度の構築、管理職の育成までを同時にアプローチする。その結果、クライアン

組織の「見えない壁」を可視化する

25問の 組織診断

無料

25 問の組織診断（無料）から、御社の現在地を可視化。組織を支える強みを整理し、優先して取り組む課題を明確化。問題点を定め、具体的なアクションに向けてワダチラボが全力でサポートします。

















ト企業からは「経験豊富な人事担当者が一人増えたような心強さがある」と絶賛され、満足度98％、リピート率95％という高い数字を誇る。実際、県内のＩＴ企業では離職率が46％から7％へ激減し、女性活躍推進の「えるぼし認定」を取得。社会福祉法人でも離職率が20％減少し、赤字から黒字への転換を果たした実績を持つ。

失敗を糧に、ＡＩ活用や新たな挑戦へ

順調に見える歩みの中にも、大きな壁はあった。かつて育休中の方に伴走するオンラインスクール「育休スイッチ」を立ち上げたものの、1年で事業撤退を余儀なくされた。「手応えはあったが、良いサービスであることと、事業として続くことは別物だと痛感した」と福島氏は振り返る。「あのとき商工会議所に相談していれば」その悔しさや学びが、現在の強固な経営スタンスへとつながっている。今や弊社はコンサルタント全員が国家資格キャリアコンサルタントやコーチ資格を保有するほか、いち早く生成ＡＩやＡＩエージェントの活用を自社に導入。議事録作成やシミュレーション、さらにはクライアント向けの評価システムの開発まで自社で行い、社内生産性を3倍以上に高めつつ、そのノウハウを企業の業務改善研修として還元している。

那覇商工会議所のサポートをバネに、さらなる飛躍へ

事業が急拡大するなかで直面したのが、売上の回収サイト（入金までの期間）の長期化に伴う資金繰りの不安だった。さらなる事業投資や人材確保へ積極的に踏み出すため、福島氏は以前から面識のあった那覇商工会議所の経営指導員に相談を持ちかけた。「マル経融資制度」の紹介をはじめ、事業規模に合わせた融資申請のサポートを受けたことで、2年連続で融資が実行された。「自己資金だけで立ち上げたベンチャーにとって、キャッシュに余裕ができたことは精神的・経済的に大きな安心感となりました。おかげでチャンスを掴みに行く積極的な事業活動ができるようになりました」と笑顔を見せる。

今後の目標は「沖縄の人事インフラになる」こと。エンゲージメント調査の本格展開や、かつて断念した育児・介護と仕事の両立支援事業の再挑戦など、視野はすでに未来を向いている。

「離職が止まらない、管理職が育たない、ＡＩをどう活用すべきか分からない。そんなお悩みをお持ちの企業様、まずは25問の無料組織診断から、自社の現在地を数字にするところから始めませんか」ワダチラボが全力で解決に向けてサポートします。

最後に、商工会議所の活用について福島氏はこうメッセージを送る。「経営者は孤独を感じることも多いですが、商工会議所の方々はどんなことにも親身に相談に乗ってくれます。相談するだけで気持ちが軽くなり、前向きに経営に臨めるようになるので、ぜひ皆さんも活用してみてください」

YEG
那覇 ハイサイ！青年部
10月号
2026年 第363号
那覇商工会議所青年部会報

令和8年度活動スローガン **YEG MOVEMENT ー未来はここから始まるー**



集合写真

令和8年度 第92回臨時総会・懇親会

9月9日(水)、中小企業振興会館2階大ホールにて、那覇商工会議所青年部 第92回臨時総会・懇親会が開催されました。

臨時総会では、第一号議案「令和8年度 補正予算(案)承認の件」をはじめ、令和9年度の会長・監事・理事予定者に関する4議案が上程されました。第二号議案では、令和9年度会長予定者として嘉手苅尚君が満場一致で承認され、次年度へ向けた新たな一歩が踏み出されました。



第一号議案を進める
瑞慶覧博喜専務



宮城充直前会長　挨拶

嘉手苅君は、これまで委員長や副会長、「那覇めし」、沖縄県商工会議所青年部連合会、日本ＹＥＧへの出向など、さまざまな活動を経験。その中で先輩方から受け取った経験や思いを次世代へつなぎ、先輩方と中堅会員、新入会員の「橋渡し」を担いたいとの決意を示しました。また、那覇市が抱える地域課題に向き合い、那覇ＹＥＧが築いてきた歴史と伝統を大切にしながら、時代に合わせた新たな可能性を広げていく思いを語りました。



令和9年度会長予定者として
承認された嘉手苅尚くん

総会後の懇親の部では「酒合わせの儀」が行われ、会員同士の親睦を深めました。さらに、第39代泡盛の女王として活動する会員の宮下智美さんを中心に「盛り泡ろうコラボダンス」を収録。多くの会員が



国歌斉唱をする会員メンバー



新たに仲間に加わった新入会員の普天間忍くん



司会
総務委員会　渡久地美宇くん



総会の監事講評をしていただいた
奥平雄太監事



選挙管理委員会
城間建委員長



宮國桂光会長　挨拶



「盛り泡ろう」コラボダンス風景



酒合わせの儀を行った令和8度会長 宮國桂光（左）、
会員でもあり第39代泡盛の女王として活躍する宮下智美くん（中央）、
令和9年度会長予定者として承認された嘉手苅尚くん（右）

笑顔で参加し、泡盛や沖縄文化の魅力を発信するとともに、会場は那覇ＹＥＧらしい活気と一体感に包まれました。

先輩方が築いてきたものを受け継ぎ、世代をつなぎながら、新たな挑戦へ。令和９年度への確かなバトンをつなぐとともに、那覇ＹＥＧの次なる一歩を感じさせる臨時総会となりました。円滑な運営にご尽力いただいた総務委員会の皆様、大変お疲れ様でした。



総務委員会のみなさん

中小企業のためのDX事例

薬剤師の『マウス文化』に寄り添う、現場発の薬歴DX

PwCコンサルティング合同会社
PwC Intelligence
シニアマネージャー／大川　真史

今回は、生成ＡＩで薬歴作成を効率化した医療ＩＴ業の事例です。薬歴は、薬の使い方など患者に説明した内容や体調、薬剤師の判断などを残す重要な記録です。調剤報酬の請求にも関わるため、省くことはできません。

茨城県つくば市にある株式会社ロジロジは、薬剤師が患者との対話に集中できる環境づくりを進めています。代表の山口洋介氏は以前、薬剤師として薬局の現場に立ち、服薬指導後も薬歴の作成に追われる日々を経験しました。

薬剤師は月に約24時間、勤務3日分に相当する時間を薬歴作成に費やしているといいます。山口氏も負担を感じていましたが、長年続く業務だけに、仕方のない仕事として受け入れていました。

転機は生成ＡＩの登場でした。処方情報と患者との会話を組み合わせれば、薬歴の下書きをつくれるのではないか。新しい技術に触れたことで、当たり前だった業務が「解決できる課題」に変わったのです。

同社が開発する薬歴入力支援システムでは、処方内容や前回の薬歴を基に、今回確認すべき事項をあらかじめ表示します。患者との対話を録音し、服薬指導後には、会話を整理した薬歴の下書きをＡＩが作成します。薬剤師はメモを取りながら話したり、記録を一から考えたりする負担が減り、患者に意識を向けやすくなります。これらの改善は作業時間の短縮だけでなく、患者と向き合う時間を取り戻すことも目的の一つです。

ただし、薬局で使われる電子薬歴のシステムはメーカーごとに仕様が異なり、新しいシステムとの連携は容易ではありません。全てを入れ替えれば費用がかかり、操作を覚え直す負担も生じます。そこで同社は、既存システムを残したまま、作成した薬歴を画面上の所定の欄へ自動で転記する仕組みを開発しました。

薬剤師経験を持つ山口氏は、実際の業務の流れを起点に開発を進めました。設計では、薬剤師がキーボードのショートカットよりもマウスを多用する「マウス文化」にも着目し、使い慣れた操作で新機能を使用でき、現場が無理なく受け入れられる形を目指しました。

この事例が表すのは、DXでは新しい技術だけでなく、既存の設備や現場の習慣を尊重することが重要だという点です。全てを一度に変えるのではなく、負担の大きい部分から改善していく。働く人が自然に使える形にすることが、中小企業のDXを定着させる鍵になります。

※この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります



PLOFILE

大川　真史〈おおかわ・まさし〉

大手国内シンクタンク、大手国産ソフトウエア会社などを経て現職。デジタル化、中堅・中小企業に関する情報発信に従事。これまで、デジタル化による新事業・サービス開発支援、中堅・中小企業のデジタル化に関する政策提言などを経験。経済産業省、経団連、経済同友会、日本商工会議所などでの講演やワークショップの企画運営の実績多数。ITコーディネータ。

令和8年度　高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材を活用しませんか?





臨時的・短期的又は軽易な業務

（公社）那覇市シルバー人材センター　TEL：098-943-5658
（公社）沖縄県シルバー人材センター連合

「時間」から「健康」へ！
労基署の指導方針変更とストレスチェック義務化



グスクード社会保険労務士法人
代表社員　渡慶次 佳朗
特定社会保険労務士。1978年生まれ、那覇市出身。英国にて修士号を取得。外資系大手法律事務所勤務を経て2013年にグスクード社会保険労務士事務所を設立。

Q 9月から労基署の残業に対する指導方針が変わったと聞きました。さらに今後は、小規模企業でもストレスチェックが義務化されるそうですが、中小企業は何に気をつければよいでしょうか？

A 「単に残業時間を減らせばよい」という時代が終わります。労基署は「時間数の削減」よりも「従業員の健康確保措置が機能しているか」を厳しく見る方針に転換しました。来年の義務化に向け、今から「健康重視」の体制へシフトする必要があります。

「一律の時短」から「実効性ある健康措置」へ

2026年9月1日より、労働基準監督署の監督指導が大きく見直されました。これまで労基署は、時間外労働が多い企業に対し、画一的に**「月45時間以内に削減しなさい」**と指導する傾向がありました。

しかし今後は、単なる時間削減だけでなく**「36協定（特別条項）で定めた『健康及び福祉を確保するための措置』が実際に実施されているか」**を重点的に確認する方針へと転換しました。つまり、36協定の届出用紙でチェックを付けた**「医師による面接指導」や「勤務間インターバル」**などが、単なる“丸つけ”に留まり実行されていない場合、厳正な指導の対象となるということです。

中小零細にも迫る「ストレスチェック義務化」

この「時間から健康へ」という国の方針転換を象徴するのが、今後予定されている**「ストレスチェックの対象拡大」**です。これまで従業員50人以上の事業場にのみ義務付けられていた制度が、**令和10年4月1日から50人未満の中小零細企業にも義務化される見通し**です。

メンタルヘルス不調による休職や離職は、人手不足に悩む沖縄の中小企業にとって極めて大きな経営リスクです。国もそこにメスを入れ、「従業員の心身の健康」を企業の責任として明確に求めてきていると言えます。

表面的な「時短ハラスメント」を防ぐために

残業を減らすことは重要ですが、現場の業務量を見直さずに表面的な時短だけを強要すれば、「持ち帰り残業」などの隠れ残業の温床になります。今、経営者がすべきは、自社の36協定を見直し**「約束した健康確保措置を本当に実行できているか」**を点検することです。

社員の健康は、いまや企業最大の資本です。今回の指導見直しや今後のストレスチェック義務化を、単なる「規制強化」と捉えるのではなく、自社の労務環境をアップデートする「好機」として捉えてみてはいかがでしょうか。

まずは一度、自社の36協定の控えを取り出し、**「健康確保措置」**の項目を確認することから始めてみてください。もし実態とのズレに気づき、自社のみでの見直しに限界を感じられた際は、抱え込まずに地域の専門家の知見をうまく活用することも、経営の安定に向けた有効な選択肢です。



令和8年度美術館企画展 in 名護

アイデアがカタチになるとき デザイナー 岸本一夫

本展覧会担当学芸員
大城さゆり

オリオンビールロゴのデザイナー・岸本一夫

観光客がこぞって着用するオリオンビールTシャツ。今日ではオリオンビールのロゴを目にしない日はありません。長年にわたり県民に愛されてきたこのロゴを手掛けたのが、沖縄を代表するデザイナー・岸本一夫です。60年以上グラフィックデザインに携わり、91歳の現在も作品を発表し続ける岸本は、デザイナーの職を脅かすのではと懸念されるAI技術についても「AIの根元にあるのはやはり、人間の思考力だと思うんですね。だから思考力をしっかり日常生活の中でつくり上げていくべきだ」と語り、人間の経験や思考力、デザイナーの必要性は今後も変わらないと確信しています。



アイデアスケッチ

当館は昨年のコレクション展において、収蔵する18点の岸本作品を初公開しました。そして今度は岸本氏にゆかりの深い名護市で、その仕事を紹介する展覧会を開催します。

名護と岸本一夫

岸本一夫は1935年、現・名護市山入端出身の父と勝山出身の母のもと大阪府で生まれました。学童疎開を経て、終戦後の1946年に父の故郷・山入端へ移住し、沖縄での生活をスタートさせています。屋部中学校、名護高校在学中は絵を描くことに熱中し、高校3年生で沖展へ出品。琉球大学美術工芸科卒業後には母校の名護高校で美術教師を務めました。

1960年にRBCテレビの美術スタッフへ転職したことをきっかけに名護を離れ、1973年以降はフリーランスとして活躍。特に1980年頃から約20年間嘱託デザイナーを務めたオリオンビールでは、ロゴのみならずパッケージや広告など、時代を彩る数々の名デザインを生み出しました。

実は岸本の仕事には、名護や周辺地域の風景が繰り返し登場します。1973年の若夏国体ポスターは本部町備瀬の福木並木で撮影し、オリオンビール広告や缶デザインに登場する海は少年時代から愛する山入端海岸が原風景としてあり、2001年発売「いちばん桜」は名護城の桜をモチーフとしています。



オリオンビール広告のためのスケッチ



オリオンビール缶パッケージのためのスケッチ

アイデアがカタチになるとき

本展では収蔵作品に加え、デザイン完成に至るまでのアイデアスケッチも展示します。膨大なアイデアを手で形にする過程の面白さを多くの方に知っていただき、特に名護の皆様に地元ゆかりの人の活躍を紹介することで、未来の文化を担う次世代を育む一助となればと期待しています。

岸本のデザインは今や沖縄イメージを象徴する存在ですが、完成までには数千枚のスケッチと、手を止めない情熱がありました。岸本の仕事におけるアイデアが形になるプロセスを通じて、デザインの魅力をお届けできれば幸いです。

令和８年度美術館企画展 in 名護
アイデアがカタチになるとき デザイナー 岸本一夫
2026年（令和8年）11/27(金)▶12/13(日)
主催 沖縄県立博物館・美術館
共催 名護市教育委員会
会場 名護博物館 ギャラリー1・2・3



国際通り添い、山形屋デパートの屋上にあった「遊園地」。（提供：那覇市歴史博物館）

那覇
歴史探訪

あの日の空に響いた歓声

那覇・国際通りデパート屋上遊園地の記憶

文　仲間　誉

鮮やかなネオンが街を彩る現在の国際通りも魅力的ですが、昭和の時代、この通りは今とは少し違う熱気に包まれていました。

当時の子どもたちにとって、国際通りへのお出かけは一大イベントであり、最大の目玉はデパートの屋上に広がる「夢の国」でした。リウボウ、沖縄山形屋、沖縄三越といった県内を代表する百貨店の屋上には、青空の下で煌めく遊園地が存在し、週末ともなれば多くの家族連れで溢れかえっていたのです。

県内で初めてエスカレーターを設置したリウボウでは、動く階段を一目見ようと建物をぐるりと囲むほどの人だかりができました。そして上階へと向かった先には観覧車などの遊具が並び、子どもたちの歓声が響き渡っていました。また、1922年に呉服店として始まった沖縄山形屋の屋上にも独特の魅力がありました。復帰前の色濃い時代、「1ドルお買上毎に」という看板の下をくぐり抜け屋上へ出ると、ビルの縁から少しだけ飛び出すように走るスリリングなミニ列車があり、その光景を鮮明に記憶している方も多いのではないでしょうか。大越百貨店として開業し、後に名称を変えた沖縄三越の屋上も、当時の子どもたちが夢中になる新しい遊具が並び、1975年の海洋博を前にした熱気とともに多くの県民の笑顔を乗せて動いていました。

大食堂で旗の立った「お子様ランチ」を頬張り、その足で屋上のメダルゲームや乗り物へと駆け出す。当時のデパートはただ物を買うだけの場所ではなく、家族の温かな思い出を紡ぐ特別なハレの舞台でした。10円や50円の硬貨を握りしめ、景品の駄菓子に一喜一憂したあの時間は、本土復帰前後という沖縄の激動の時代において、人々の心に安らぎと豊かさをもたらすかけがえのないオアシスだったと言えます。

現在、那覇のデパートの屋上は、緑豊かな憩いの庭園へと姿を変え、静かに街を見守っています。遊具の賑やかなメロディこそ聞こえなくなりましたが、あの屋上遊園地で見上げた突き抜けるような沖縄の青空と、親に手を引かれて歩いた温かな記憶は、今も色褪せることなく昭和の那覇を彩る大切な財産として私たちの胸に刻まれています。

10月・11月スケジュール

10月4日(日)	第1回 創業塾
10月5日(月)	外国人材マネジメントセミナー
10月6日(火)	経理DXによる生産性向上と 持続可能な賃上げ対策セミナー
10月9日(金)	第6回 インバウンド観光人材育成研修
10月11日(日)	第2回 創業塾
10月13日(火)	法改正に対応した「人事評価制度」の 再構築セミナー
10月14日(水)	青年部 定例会
10月15日(木)	日韓IT企業交流会in那覇
10月16日(金)	第7回 インバウンド観光人材育成研修
10月18日(日)	第3回 創業塾
10月22日(木)	正副会頭会議
10月24日(土)	第4回 創業塾
11月1日(日)	第5回 創業塾
11月2日(月)	「ハラスメント対策と就業規則見直し」の実務セミナー
11月10日(火)	事業継続力強化計画自社リスク対策セミナーのご案内 青年部 定例会
11月12日(木)	正副会頭会議
11月13日(金)	人材定着セミナー 金融個別相談会
11月15日(日)	簿記検定試験
11月19日(木)	属人化解消・業務分散セミナー
11月20日(金)	トラブルを未然に防ぐ法務と契約実務の基本セミナー
11月24日(火)	税理士個別相談会
11月25日(水)	税理士個別相談会 給与計算と社会保険 実務上の留意点セミナー
11月27日(金)	税制改正を踏まえた年末調整セミナー
11月27日(金) ～29日(日)	那覇フェア in 羽田産直館

９月事務局日誌

9月1日(火)	貿易部会
9月2日(水)	第1回 インバウンド観光人材育成研修
9月3日(木)	工業部会
9月7日(月)	小売部会
9月8日(火)	適切な価格設定と原価計算の考え方セミナー
9月9日(水)	第2回 インバウンド観光人材育成研修 青年部 臨時総会
9月15日(火)	ブランディングと外部プロ人材活用セミナー
9月16日(水)	第3回 インバウンド観光人材育成研修 生成AI活用・実践セミナー
9月17日(木)	うちなー健康企業会 特別定例会
9月18日(金)	正副会頭会議
9月24日(木)	第4回 インバウンド観光人材育成研修
9月25日(金) ～27日(日)	GOOD LIFE フェア2026
9月30日(水)	第5回 インバウンド観光人材育成研修



編集後記

from T.T

秋風の街に、熱を感じて

10月となり、朝晩の風に秋の気配を感じる季節となりました。

沖縄の10月は、「那覇大綱挽まつり」や、「沖縄の産業まつり」、そして「世界のウチナーンチュ大会」などといった、県内地域や産業を熱く盛り上げる大型行事が目白押しです。暑さも少しずつ和らぎつつあるこの機会に、ぜひ足を延ばし地域に満ちる活気や熱気を肌で感じてみてはいかがでしょうか。

行事には大小問わず、裏で支え運営する人、演者や当事者として参加する人、期待を胸に足を運ぶ人、心から楽しんでいる人、そこにはそれぞれの立場に応じた確かな「熱量」が存在しているようにいつも思います。

最近感じることは「人の感情は波紋のように伝播する」ということです。それは、誰かの情熱や前向きな熱量は周囲の人に波及していく、当然逆も然りです。そういった経験はきっと皆様にもあるかと思います。

だからこそ、心地よい涼しさとなりつつある今、改めて街にあふれる豊かな「熱量」を感じてみてください。その熱は、きっと皆様の日々の仕事やプライベート、そして人間関係をより一層豊かなものにしてくれるはずです。



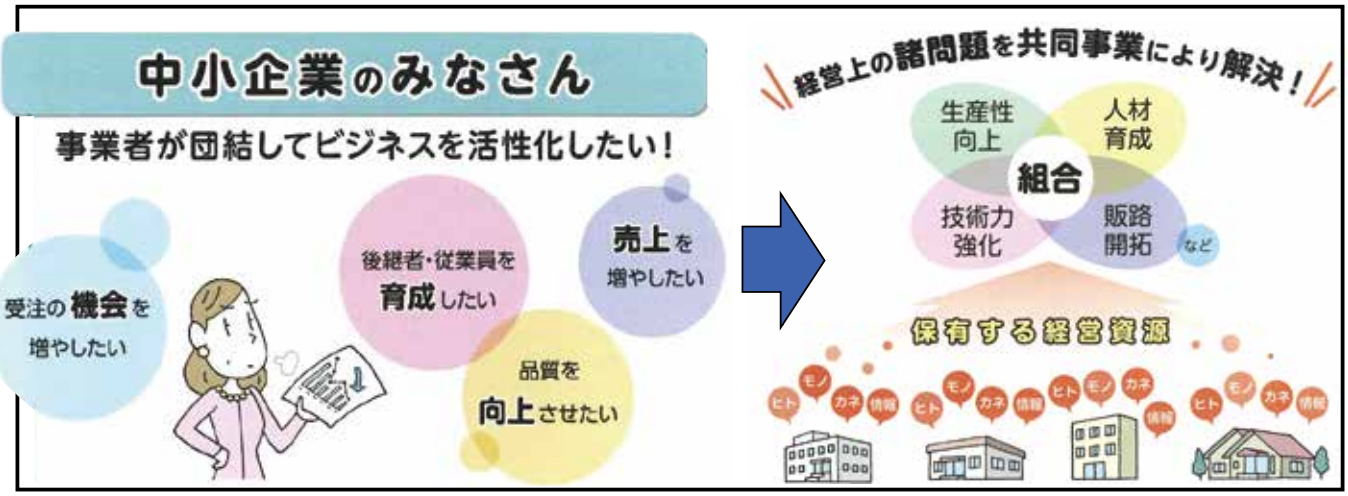
那覇商工会議所
〒900-0033 那覇市久米2丁目2番10号
中小企業振興会館3階
TEL 098-868-3758(代)
E-mail cci-naha@nahacci.or.jp
FAX 総務部 098-866-9834
相談部 098-866-5728
URL https://nahacci.com

OKINAWA FEDERATION OF SMALL BUSINESS ASSOCIATION

中小企業組合とは？

中小企業者が個々では対応できない課題に対して、相互扶助の精神に基づき協同で事業を行うことにより、経営上の諸問題を解決し、経営の近代化・合理化や経済的地位の改善・向上を図ることを目的とする組合です。

４人以上の中小企業者によって設立でき、共同事業を通じて組合員が行う事業を補完・支援するための事業を実施します。以前は同業種の事業者で組織する組合が大半でしたが、現在は異業種の事業者で組織する組合が多く、それぞれの組合員が保有する技術、経営のノウハウ等を出しながら活動しています。



沖縄県内にある組合の事例紹介として
YouTube動画が視聴できます。
右記の二次元コードから視聴ください。

沖縄県中小企業団体中央会
那覇市字上之屋303番地8
TEL.098-860-2525　FAX.098-862-2526
https://www.ocnet.or.jp

那覇・中小企業振興会館　会議・セミナー・イベントに最適！

貸しホール・貸し会議室のご案内

会員事業者は 25% 割引！

セミナーや説明会の会場を探している

アクセスが良く、設備がそろった場所がいい

そんなお悩みは、中小企業振興会館で解決！

那覇の中心地にあり、便利な立地。ホールと会議室の2会場を備えた会館は、打ち合わせ・研修・展示会・地域イベントなどに幅広くご利用いただけます。




2階ホール


2階大会議室

おすすめポイント

- ●会議、講演会、社内研修、イベントなどに対応
- ●プロジェクターや音響機器なども利用可能
- ●スクール形式やシアター形式などレイアウト自由
- ●利用しやすい料金設定、長時間利用も歓迎！

お申し込み・空き状況の確認
問い合わせ先

那覇商工会議所　総務部
営業時間▶平日8:30-17:00
098-868-3758
https://nahacci.com/rental-meeting-room/

NAHA CCI NEWS
10月号
2026 No.881
令和8年10月15日発行
(毎月1回15日発行)
■発行人 金城 敦
■発行所 那覇商工会議所 ☎098-868-3758
那覇市久米2丁目2番10号 中小企業振興会館3階
■印刷 有限会社 サン印刷
■定価 1部50円(会費に含む)
UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス FSC® C172881

沖縄県 早期経営診断推進事業

経営の、小さな引っかかり。話してみませんか？

相談無料
秘密厳守



専門家が直接訪問し、経営のお悩みを一緒に考えます。

売上や資金繰り、人材確保など、経営の悩みは早めに話すことで解決の糸口が見つかります。
沖縄県が専門家・支援機関とともにあなたの挑戦をサポートします。

こんなお悩み、ありませんか？

- ☑ 売上・利益が伸び悩んでいる
- ☑ 資金繰りが不安
- ☑ 優秀な人材の採用・定着が進まない
- ☑ 将来の事業成長に不安がある
- ☑ 後継者や事業継承先が見つからない
- ☑ 有効な販路拡大策が見つからない
- ☑ 誰に相談すればいいかわからない



早期経営相談で打てる手が増えます！



経営の「気になるサイン」を感じたら、

早期経営相談をご活用ください。

- 売上・利益の低下
- 資金繰りが不安
- 人材不足・人材定着
- 将来への不安
- 事業承継・後継者不在

¥0
相談無料
費用はかかりません。安心してご相談いただけます。

秘密厳守
ご相談内容は秘密厳守で対応します。

専門家がサポート
経験豊富な専門家が課題解決をサポートします。

支援機関と連携
県内の支援機関と連携し、最適な支援につなぎます。

お問い合わせ ご相談窓口

098-859-6236 受付時間：平日 9:00～17:00
公益財団法人沖縄県産業振興公社 経営支援部 事業支援課
ご相談はこちらから！ 沖縄県プッシュ型相談支援事業

沖縄県商工労働部　中小企業支援課